

マドリッド通信

Buenos Dias!

マドリッド日本人学校
金口 英樹
2010.11

今年の4月から、スペインのマドリッド日本人学校派遣になった金口英樹です。突然ですが、スペインと言えば、何を思い浮かべられますか？サッカー、フラメンコ、闘牛...などではないでしょうか。今年6月から7月にかけて、南アフリカ共和国で行われた「FIFAワールドカップ」でスペインが初優勝したことは、みなさんの記憶にも新しいと思います。優勝後、首都マドリッドでは、選手たちによる凱旋パレードで大いに盛り上がりました。

これから、スペインについて、そしてマドリッド日本人学校についてお伝えし、はるか遠くの国ですが、スペインを身近に感じていただけたらと思います。



< マドリッドの中心、マヨール広場 >



< 古都トレドの街並 >

マドリッド日本人学校について



スペインの首都マドリッドにあるマドリッド日本人学校には、現在小学部12名、中学部4名、計16名の児童生徒が在籍し、在外教育施設の特徴を生かしつつ、日本の学校に準拠した教育を行っています。年々児童生徒数が減ってきていますが、小学1年生から中学3年生までが在籍し、昼食を全校で一緒に食べたり、休み時間にはみんなでドッジボールやサッカーをして遊んだりするなど、学年を越えたふれ合いが日常的に行われる、アットホームな学校です。

本校では、「国際性の基礎を養い、創造性や豊かな人間性に富んだ、たくましい児童生徒の育成」を学校教育目標として掲げ、日々の教育活動を行っています。小学校低学年から、英会話やスペイン語の学習を行って、国際性の基礎を養うことと同時に、児童生徒の言語活動の核となる国語(日本語)教育にも力を入れています。

取り組みの一つとして「伝え合う力を育てる」ことに力を入れています。

日々の授業の中で一つ一つの言葉を大切に
する活動はもちろん、小学部では朝の活動「チャ
レンジタイム」で、自作教材「漢字パーフェクト」を使
って、既習漢字の繰り返し学習を行って漢字の確
実な定着を図っています。そして月に一度、学習
の定着を確かめるために「チャレンジ漢字テスト」
を行っています。



また、全校での取り組みも行っています。各学
級での帰りの会の後行われる、全校帰りの会「ホ
ールの会」では、週に2回のペースで、全校児童生徒輪番制による「1分間スピーチ」
を行っています。「ドキドキハラハラしたこと」や「わたしの宝物」などをテーマにスピー
チをします。原稿をできるだけ見ないで、一生
懸命に自分の思いを伝えます。聞いている側も
真剣に話を聞き、スピーチの後には、あたたか
い感想を発表します。人前で話すことの苦手な
児童もいますが、こうした経験を少しずつ積むこ
とで、人前で自分の



思いを伝えることが
できるようになっ
てきています。



その他、小学部では中学年の児童が低学年の児童
に向けて紙芝居の読み聞かせをするなどさまざまな言
語活動に取り組んでいます。

今回は、マドリッド日本人学校の取り組みの一端をご紹介しました。今後スペイン
の魅力やマドリッド日本人学校の取り組みについてお伝えしていきたいと思ひます。

ちょっとスペイン語

あいさつ編

Hola! (オラ!)

「やあ!」

Buenos dias. (ブエノス ディアス)

「おはよう」

Buenas tardes. (ブエナス タルデス)

「こんにちは」

Buenas noches. (ブエナス ノチェス)

「こんばんは」

Gracias! (グラシャス)

「ありがとう」

Denada! (デナーダ)

「どういたしまして」